

日本の女性ファッション雑誌ランキング発表

宝島社 独占 1位『リンネル』2位『Sweet』
 スウィート
 ※書店・コンビニ実売
 ファッション誌 9年連続 トップシェア

一般社団法人日本ABC協会より、2019年上半期(1~6月)の雑誌販売部数が2019年11月8日(金)に発表されました。同協会に参加する月刊女性ファッション雑誌の販売部数において、株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発行する『リンネル』(175,917部)が前年同期比(2018年1~6月)伸長率110%と部数を伸ばし、書店・コンビニの実売で1位となりました。2位には前期(2018年7~12月)と同様に『sweet(スウィート)』(151,383部)がランクインし、好調をキープ。トップ10内には宝島社の雑誌が5誌入り、ファッション誌の市場占有率が26%を超え、9年連続でトップシェアを獲得しています。(※)

宝島社は2010年以降に、『リンネル』(2010年)、40代女性誌『GLOW(グロー)』(2010年)、アラフォー世代向け『otona MUSE(オトナミュージズ)』(2014年)、50代女性誌『大人のおしゃれ手帖』(2014年)、30代からの美容誌『& ROSY(アンド ロージー)』(2017年)、50~60代向けモノ雑誌『MonoMaster(モノマスター)』(2018年)の6誌を創刊し、大人市場を開拓。さらに、今年9月には日本初となる60代女性ファッション誌『素敵なあの人』を創刊しました。60代向けファッションに特化した雑誌は同誌が初めてとなります。宝島社は、新たな雑誌を創刊することで、常に新しい価値観、ライフスタイルを提案し、新市場を創出してまいりました。今後も雑誌出版のリーディングカンパニーとして、業界を盛り上げていくことに尽力してまいります。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2019年上半期(1~6月)より

1位 ※書店・コンビニ実売
 リンネル
 前年同期比
 伸長率110%



2位
 Sweet
 好調キープ!


日本の女性ファッション誌
トップ10 中5誌ランクイン!

1	『リンネル』
2	『Sweet』
3	—
4	—
5	—
6	『GLOW』
7	—
8	『InRed』
9	—
10	『mini』

※データは、日本ABC協会2019年上半期(1~6月)雑誌発行社レポートより。
 日本ABC協会が発表する部数は、発行部数ではなく実際に売れた実売部数です

日本初 60代ファッション誌 創刊



今年の9月14日に宝島社は新しい60代女性市場に向け、日本初の60代ファッション誌『素敵なおの人』を月刊創刊しました。

11月号（創刊号）と12月号は2号連続で10万部が完売。

同誌はファッションムック（当時タイトル『素敵なおの人の大人服』）として第1号を2017年12月に発売。発売わずか3日で重版し5万部を突破、「グレーヘア」などの社会現象を起こしました。その後、発売したシリーズすべての売れ行きが好調であったことから、このたび月刊創刊にいたしました。これまでに60代向け雑誌として健康情報誌などはありましたが、60代向けファッションに特化した雑誌は同誌が初めてとなります。



編集長 神下 敬子(かみした・けいこ) プロフィール

1973年、神奈川県生まれ。商社のアパレル担当、外資系ファンドのコンプライアンスを経験した後、ライター業を開始。ビューティやファッション関連本など様々な媒体に携わる。実用書編集部員を経て2016年宝島社入社。ファッション、インテリア、家事、健康など様々な本を手がける。



編集長が語る！60代女性誌『素敵なおの人』とは

コンセプトは“自然体”。誌面の5割はファッションに

体形の悩みが出てくる素敵世代にとっては、リアルな提案ができなければ読者はなかなか自分に落とし込めません。まずは、実例として世の中に素敵なおのひとがいることを見せることが大切。一般の方が登場するページが多いのも特徴です。

60代は仕事・家事・子育ても一段落！縛りのない自由なファッションを楽しめる

50代はまだ仕事や子育てなど、コミュニティを意識して服装を選ぶ必要があります。しかし60代は純粋に自分の“好き”の基準でおしゃれができ、自分が築いてきたセンスを思い切り楽しめます。

今の60代は従来のシニアとは異なる！ミニスカート、アンノン族etc.

若い頃に『anan』『non-no』といった女性ファッション誌が創刊。雑誌の誕生とともに、ニュートラやハマトラ、ジーンズやミニスカートの流行など、若者文化が発展した時代の先頭に立ち、牽引してきた世代が今の60代です。

リサーチは素敵なおのひとを集めた“お茶会”の開催、街でスカウトも！

前例のない60代雑誌なので徹底したリサーチが重要。そのため“お茶会”と称したヒアリングの場を設け、ファッションや美容のお悩みなどをうかがっています。外出時、街中で素敵なおの方を見かけた時にはすかさずスカウト。実際に誌面に出ていただくこともあります。

“素敵なおの人”は 全国のギャラリーに集結

ギャラリーは美術品などの展示もありますが、最近では作家の器やアクセサリといった生活に根差したものを個展形式で展示販売しています。おしゃれなお客様がついていて、まさに『素敵なおの人』が集まる場所。全国各地に名物ギャラリーが存在するので、創刊号から連載「全国ギャラリー探訪」にて紹介しています。